バージョンアップのご案内

このたび[WINSTAR CAM]がVer.11にバージョンアップいたしましたので、そのお知らせとお乗り換えのご案内を申し上げます。
改良内容については次ページ以下をご参照ください。
併せて旧バージョンのWindows8、7、Vistaでの動作についてご案内をさせていただきます。

WINSTAR CAM Ver.11 の使用環境について

[WINSTAR CAM Ver.11]はWindows8/7/Vista/XP/2000専用です。32ビット、64ビット対応です。
〔ご注意〕WindowsNT4.0/Me/SE/98/95では動作できません。ご了承ください。

旧バージョンのWindows8、7、Vistaでのご使用について

[WINSTAR CAM Ver.10]、[WINSTAR CAM Ver.9]、[WINSTAR CAD Ver.9+CAMツール]はWindows8の元で動作できません。
[WINSTAR CAD Ver.8+CAMツール]はWindows8/7の元で動作できません。
[WINSTAR CAD Ver.7+CAMツール]、[WINSTAR CAM(旧製品)]、[銘彫]はWindows8/7/Vistaの元で動作できません。

これらの旧製品はWindowsVistaから採用されたファイルシステムをはじめ大幅な仕様変更により、強制的に動作を停止させられてしまいます。
動作を停止させられると、データの保存・保持が一切不可能です。また強制的な停止は、設定上で回避する手段がありません。
Windows8/7/Vistaをご使用になる場合、[WINSTAR CAM Ver.11]へのバージョンアップ以外の対応策はありません。ご了承ください。

プロテクタは[WINSTAR CAM Ver.11]専用となり、USBタイプのみとなりました

USBタイプ —— USBポートに接続するタイプのものです。USBポート一個を占有します。

ご提供製品の内容について

[WINSTAR CAM Ver.11]には「CAM編」の取扱説明書が附属しますが、CAD部分の説明となる「WINSTAR CAD Ver.11」の製本された取扱説明書はお付け致しません。お入り用の方は別途ご購入ください。
※製品CDには、取扱説明書相当のPDFファイルが入っています。お手元のプリンタで印刷してご覧いただくことができます。

保存時のデータ形式と、互換性について

拡張されたデータを保存するため、作成されたデータは新たなデータ形式で保存されます。

これまでの旧バージョンの[WINSTARシリーズ製品]で作成されたデータは、[WINSTAR CAM Ver.11]で問題なく読み込みできます。
また、下位互換をキープするためこれまでと同じデータ形式で保存することも可能ですがユニコード文字は保存できません。

[銘彫]とは文字に対する扱いが異なるので今までの図面データやプレートデータを読み込むことは出来ますが、文字配置の設定が従来とは異なった状態で読み込みされます。データ中の図形形状に関しては問題ありません。
[WINSTAR CAM Ver.11]で作成した図面やプレートを[銘彫]に読み込ませても正常な彫刻データにはなりませんのでご注意ください。

バージョンアップの費用

バージョンアップ料金は下表に示すように、ご使用製品のバージョンによって異なります。
ご注文に際してはご使用製品のバージョンをご確認のうえ、別紙のお申し込み書にてお申し込みください。
なおバージョンアップ料金の基となるご使用製品のバージョンは、弊社の台帳に登録されているバージョンです。

区分	ご使用製品のバージョン	バージョンアップ料金	プロテクタのご返却(交換)について
ケースA	WINSTAR CAM Ver.10	52,500円(税込)	現在ご使用のプロテクタをご返却いただく場合の価格です。[Ver.11]のプロテクタと交換ということになります。ご返却後は旧バージョン品の運用ができなくなりますので、あらかじめご承知ください。
ケースB	WINSTAR CAM Ver.9 WINSTAR CAD Ver.9+CAMツール	78,750円(税込)	
ケースC	WINSTAR CAD Ver.8+CAMツール WINSTAR CAD Ver.7+CAMツール	105,000円(税込)	
ケースD	WINSTAR CAM 銘彫(Windows版)	105,000円(税込)	
ケースE	その他弊社製CAM系製品	105,000円(税込)	
増設パック	その他弊社製 CAM系製品の全バージョン	157,500円(税込)	プロテクタのご返却を希望されない方で、[Ver.11]を増設していただく場合の製品です。 現在ご使用の旧バージョン品は継続してご使用いただけます。
取扱説明書		5,250円(税込)	[WINSTAR CAD Ver.11]の取扱説明書です。

・古いプロテクタは、お手元に商品が届いてから1ヶ月以内に、商品発送時に同梱される専用の封筒(レターパック)でご返却ください。
他の宅急便をご使用になる場合は、恐れ入りますが送料はユーザー様にてご負担ください。

注意! バージョンアップには、現在ご使用中のプロテクタの返却が必要です。
期限内にプロテクタの返却がない場合は以降のサポートは中止いたします。

お申し込み方法

バージョンアップを希望される場合は、最終ページのお申込書に所要事項をご記入のうえ弊社あてにFAXで送信、または郵送してください。
電話によるご注文はお受けできませんので、あしからずご了承ください。

お支払い方法のご指定と発送について

お支払い方法は、銀行振込・代金引換・現金書留のいずれかを選択していただけます。

銀行振込をご指定の場合は、[振込予定日]を必ずご記入ください。通常、お申込日から1ヵ月以内とさせていただきます。
お支払いは後払いとして承り、先に商品をご提供させていただくことも可能です。

商品はお申込書受付後、順次運送便にて発送します。

基本機能のバージョンアップについて

- ユニコード文字に対応しました。
  中国語や韓国語など多言語の文字彫刻ができます。

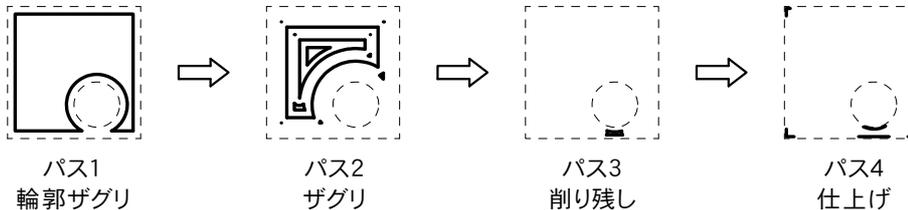
  注意! [WINSTAR CAM Ver.11]独自の標準ストロークフォントの文字種は、JIS第一・第二水準文字のみです。
  それ以外の文字種は、TrueType・OpenTypeフォントのアウトライン形状での彫刻が可能です。
- 添付の[フォントエディタ]もユニコードに対応しました。ユーザー様ご自身で必要なストロークフォントを作成できます。

CAM部分のバージョンアップについて

[WINSTAR CAM Ver.9]以前のユーザー様向けの機能のご案内です。
※[WINSTAR CAM Ver.10]のユーザー様へ、各場面でユニコードに対応しています。※

【CAM】機能の改良では、***「カッターパスを簡単に素早く作成」***することにこだわりました。

- CAM加工するためのカッターパスがダイアログボックスの数値指定だけで簡単に作成できます。
  パス作成の前準備行程を大幅に自動化しているので、閉じられた元形状さえできていればほとんど手間はかかりません。
- 1本の刃物を使う場合と、複数の刃物を使い分ける場合のためのカッターパス作成コマンドを分離しました。
  パス作成の前準備行程を大幅に自動化しましたので、閉じられた元になる図形ができていれば、カッターパス作成はほとんど手間がかかりません。

パス1 輪郭ザグリ ／ パス2 ザグリ ／ パス3 削り残し ／ パス4 仕上げ

- カッターパスの間隔は、従来のｍｍ単位での指定に加えて、刃物径にたいする割合(パーセンテージ)指定を可能にしました。
- 面取り・フィレット加工は、「荒彫り」用と「仕上げ」用の2種類の切削ピッチが指定できます。
  「荒彫り」で大きく削り取った後で、「仕上げ」加工でなめらかな加工面を作ります。
- 他のソフトウェアで作成された元データは、状況によっては細かすぎて加工に向かない場合もあります。
  このような場合にデータを間引きする[最適化]機能を追加しました。
- 図面ごとに刃物径や種類を登録しておくことができるようになりました。
  データを作成した後で切削条件が不明になってしまうようなことが極力減らせます。
- CAM出力のダイアログボックス内で材料設定を保存・編集・呼びだすことができます。
  切り込みピッチや速度を登録しておけるので、刃物を使い分ける場合のミスや勘違いによるロスをなくすことができます。

【プレートセット】機能ではご要望の多かった、***「EXCELなどの一覧データから文字彫刻する」***ことが可能になりました。

- EXCELなどで作成した一覧のCSVファイルからデータを読み込み、用意してあるプレートのひな形に差し込みます。
  CAM出力後、データを更新して次のデータを差込み、CAM出力を繰り返すことができます。
- 行ごとに左詰めや右詰め、中央配置などの細かな文字配置の指定と、CSVからの文字内容の読み込みができる[差込み連番設定]機能を追加しました。連番のみの追加も可能です。
- 試験片形状の作成に対応しました。同時にカッターパスのデータも作図できます。

その他の機能も充実しています。

- [ベクトル化ツール]を新たに開発し、搭載しました。
  画像データから簡単に切削加工用のベクトルデータを抽出できます。
  円・円弧の認識もできるので作成されるデータはレベルの高いアウトラインデータとして使用できます。
  さらに抽出したデータはツールの持つ専用のコマンドにより簡単に修正を行うことができます。

（注意！） ベクトル化の結果については、かならず修正や補正が必要なものだとお考えください。
［ベクトル化ツール］は画像データから切削加工用データを生成するための手助けのためのツールです。

● 使用できるフォントは従来のTrueTypeフォントに加えて、OpenTypeフォントも使用できます。
最新のフォント環境をご使用いただくことができます。

● TrueTypeフォント、OpenTypeフォントの文字のアウトライン抽出機能で文字の太らせ、細らせを対応しました。
元になるフォント形状からより太く、あるいはより細くした状態でのカッティング文字を作成することができます。

［WINSTAR CAD Ver.8・7+CAMツール］、［WINSTAR CAM（旧製品）］をお使いのユーザー様にはさらに従来ご案内させていただいていた［Ver.9］の追加機能にもご注目ください。
［Ver.11］ではさらにチューンナップしています。

・全データを深さごとに切削するのではなく、部分部分で先に加工させる設定が可能になりました。空走距離の多いデータや一度に深い加工が難しい部材に対しての切削加工時間が大幅に短縮できます。
・ペンごとに、切削速度、加工速度、スピンドル回転数の設定が可能になりました。（対応可能なCAM機器のみ）
切削条件を詳細に使い分けることでトータルの切削加工時間の短縮が望めます。
・ツール交換機能を持つCAM機器に対応し、ペンごとにツールを指定することが可能です。
・円、円弧の切削が遅いCAM機器に対して直線分解による高速な切削加工を行うことができます。
・刃物下降時の衝撃による部材のゆがみを回避するアプローチ出力、穴抜きや深いザグリに便利なスパイラル出力、刃物径と同じ穴を開けたい場合の突っつき出力など目的に応じた多彩な出力設定を持たせました。
・従来のハッチングやオフセットとは全く考え方の異なる、「カッターパス」を作図できます。
複雑な形状や文字形状の切削加工時に、パスデータの作図が簡単に行えてなおかつ、大幅な時間短縮が期待できます。

CAM部分のバージョンアップ内容の一覧

以下に記載した［WINSTAR CAM Ver.9］、［WINSTAR CAD9・8・7+CAMツール］、［WINSTAR CAM（旧製品）］からのCAM部分の改良内容の一覧は、各バージョンからコマンドごとに「◎ 新規機能」、「○ 強化機能」に分類してマークを付けてあります。

［WINSTAR CAM Ver.9］のユーザー様は「9」の欄を、［WINSTAR CAD Ver.9・8・7+CAMツール］のユーザー様は「9T・8T・7T」の欄を、［WINSTAR CAM（旧製品）］のユーザー様は「CAM」の欄をご覧ください。
［銘彫］のユーザー様は、ほぼ全ての機能が新規の機能、または強化された機能になります。

【CAMツール】メニュー　　簡単な指定でCAM機器へ出力できます。切削加工用のデータを作成する専用コマンドも含まれています。
ユニコード文字を含んだデータも対応しています。

メニュー名	新設、機能拡張内容	9	9T	8T	7T	CAM
CAM出力	CAM機器への出力機能を大幅に強化しました。	○	○	○	○	○
CAM部分出力	各種の出力設定を図面ごとに保存・読み込みできます。	○	○	○	○	◎
CAM反転出力（全体反転）	切削部材の材質ごとに切削時の下降速度や切り込みピッチを保持できます。	○	○	○	○	◎
CAM反転出力（原点指定）	［パスビュワー］機能を追加しました。	○	○	○	○	◎
CAM原点指定出力	※CAM出力機能については同封のパンフレットもご覧ください。	○	○	○	○	◎
データプレビュー	プレビューの中断や表示部分の変更、拡大表示中の部分プレビューが可能になりました。データの並び方向も画面で確認することができます。			○	○	◎
データソート	データの並び方向を画面で確認できるようになりました。			○	○	◎
範囲枠データソート	範囲枠指定による作図画面上の一部分のみをデータの出力方向、出力順を変更し空走ロスの少ないデータに変更します。			◎	◎	◎
連続化右回り	カッターパス作成の前処理として、連続した要素を右回り方向に並べ替えます。			◎	◎	◎
連続化左回り	カッターパス作成の前処理として、連続した要素を左回り方向に並べ替えます。			◎	◎	◎
最適化	カッターパスを追加する前の前処理として、指定された範囲枠内の余分なデータをカッターパス作成に適した状態に最適化します。	◎	◎	◎	◎	◎
指定範囲中心作図	範囲枠指定により、作図されている図形の中心位置を知るための補助線枠と対角線が作図できます。		◎	◎	◎	◎
カッターパス作成	閉鎖図形に一括で、カッターパス用のオフセット線や塗りつぶし線を作図します。	○	○	◎	◎	◎
カッターパス作成2	閉鎖図形にたいして、径の異なる複数のカッターや刃物を使用する条件で各刃物ごとのカッターパス用のオフセット線や塗りつぶし線を作図します。	◎	◎	◎	◎	◎
面取り・フィレット	閉じた図形に対して面取りやフィレット加工用のカッターパスを作図します。各面に同一の条件で面取りやフィレット加工をしたい場合に使用します。	○	◎	◎	◎	◎
面出し	面出し用のカッターパスデータを作図します。		◎	◎	◎	◎
刃物径設定	ペンごとに刃物径と形状を登録しておくことができます。	◎	◎	◎	◎	◎

【プレートセット】メニュー　文字彫刻を含むダルマなどのプレートのデータを簡単に作成できます。
ユニコード文字を含んだデータも対応しています。
［銘彫］の機能を統合しさらに使いやすくなっています。

メニュー名	新設、機能拡張内容	9	9T	8T	7T	CAM
角型標準プレート	ダイアログボックス内の各項目に数値を入力するだけで、必要とする各種のプレートが自動的に作成されます。 作図コマンドや加工コマンドをまったく使用することなく、CAM機器への出力データを作成することができます。	○	◎	◎	◎	◎
ダルマプレート		○	◎	◎	◎	◎
丸型プレート		○	◎	◎	◎	◎
小判型プレート（縦書き1行）		○	◎	◎	◎	◎
プレート呼出	登録されているプレートをプレートファイルから呼び出します。		◎	◎	◎	◎
プレート登録	画面上にセットされているプレートをプレートファイルへ登録します。		◎	◎	◎	◎
プレート削除	登録されているプレートをプレートファイルから削除します。		◎	◎	◎	◎
プレート内文字列変更	プレート内の文字列を変更します。		◎	◎	◎	◎
試験片	パラメータを指定して、ダンベル状の試験片を作図します。	◎	◎	◎	◎	◎
枚数セット	画面上にセットされているプレートをタテ、ヨコに指定枚数複写します。	○	◎	◎	◎	◎
差込み連番設定	差込み出力用に作成された画面上のデータに、CSV形式のファイルからデータを差し込みます。連続した番号を差し込むこともできます。	◎	◎	◎	◎	◎
裏彫り用反転	画面上で作図されたデータを裏彫り用に反転します。		◎	◎	◎	◎

【プローポーショナル】メニュー　図面中の文字の字詰め機能を新たに対応しました。
ユニコード文字を含んだデータも対応しています。

メニュー名	新設、機能拡張内容	9	9T	8T	7T	CAM
文字列の分解	すでにセットされている文字列を、指定されている配置設定にしたがった位置関係を保持するために1文字ごとの文字列に分解します。		◎	◎	◎	◎
文字の配置設定	文字列内の文字の配置バランスを設定します。 標準フォント、TrueTypeフォント、OpenTypeフォントのどの文字列に対しても機能します。	○	◎	◎	◎	◎

CAD部分のバージョンアップ内容

以下に記載したVer.10、9、8からのCAD部分の改良内容の一覧は、各バージョンからコマンドごとに「◎ 新規機能」、「○ 強化機能」に分類してマークを付けてあります。

［WINSTAR CAM Ver.10］のユーザー様は「10」の欄を、［WINSTAR CAM Ver.9］と［WINSTAR CAD Ver.9+CAMツール］のユーザー様は「9」の欄を、［WINSTAR CAD Ver.8+CAMツール］のユーザー様は「8」の欄をご覧ください。
［WINSTAR CAD Ver.7+CAMツール］、［WINSTAR CAM］、［銘彫］のユーザー様は、CAD部分に関しては弊社までお問い合わせください。

【ファイル】メニュー

メニュー名	新設、機能拡張内容	10	9	8
図面を開く 追加読み込み 図面削除 名前を付けて保存 図面の合成	NCファイル（Gコード）形式に対応しました。XY二次元情報のみ読み書きできます。		◎	◎
	SFC、P21、JWW、AI形式に対応しました。DWGとDXFは2000／R14／R13形式に対応しました。			◎
	保存の場合は、JPGやBMPの画像データとして保存ができます。			◎
	ダイアログボックス内にグラフィック表示欄を追加しました。（ZMN／ZUMのみ）			○
ファイル操作コマンド全般	ZEN形式のファイルは拡大サイズのグラフィック表示ができます。	◎	◎	◎
DWG･DXFファイルを開く	DWGとDXFは2000／R14／R13形式に対応しました。			○
DWG･DXFファイルを現尺で開く	正常でないDWGやDXFを、作図画面全域に表示できるように縮尺1／1（現尺）で読み込みます。			○
DWG･DXFファイルを三面図で開く	DWG･DXF形式の3D図面を三面図に展開して開くことができます。	◎	◎	◎
DWG･DXFファイルで保存	文字間隔の保持が可能。保存時英数文字のみの半角変換、対応可能な全文字の半角変換モードの選択が可能。		○	○
EXCELファイルを開く	MS−ExcelのXLS形式、XLSX形式のファイルを開くことが可能になりました。※MS−Excelが必要です。		◎	◎
PDFファイルを開く	PDFファイルを開くことが可能になりました。		◎	◎
PDFファイルで保存	PDFファイルに保存することが可能になりました。		◎	◎
テキスト読み込み	テキスト読み込み時にエディタ画面で複数行の編集や文字サイズ設定が可能になりました。		○	○
JPG･BMP読み込み（倍率）	画像データを、追加の形で読み込みます。JPG形式に対応しました。原寸で読み込めます。		○	○
JPG･BMP読み込み（対角）	画像データを、追加の形で読み込みます。JPG形式に対応しました。			○
印刷プレビュー	印刷前の状態をプレビュー画面で確認できます。			◎
印刷	「自動用紙設定」機能を追加。特定のペンのみカラーで出力可能。印刷条件を保存しておくことが可能。		○	○
プロッタ出力	接続先で、USB･ネットワークへの対応が可能になりました。			○
ベクトル化ツール	JPG･BMPの画像ファイルからベクトルデータを抽出できるツールを持たせました。		◎	◎
ユーティリティ起動	「連続ファイル変換」でPDFファイルへの変換を対応しました。DWG･DXFファイルの関連付けができるようになりました。 ZEN･ZMN･ZUMファイルはインストール時に自動的に関連付けされます。	○	◎	◎
	「連続印刷」でDWG、SFC、P21、JWW、AI形式を追加。「連続印刷」で「自動用紙設定」機能を追加しました。			○

【編集】メニュー

メニュー名	新設、機能拡張内容	10	9	8
ホールド	指定された範囲部分をWINSTAR CADのホールド用クリップボードに蓄えます。		◎	◎

メニュー名	新設、機能拡張内容	10	9	8
ホールドグループ	指定したグループ要素をWINSTAR CADのホールド用クリップボードに蓄えます。		◎	◎
ホールドセット	WINSTAR CADのホールド用クリップボードの内容を作図画面上に仮表示しながら貼り込みます。		◎	◎
ホールド拡大縮小	ホールド用クリップボードの内容を仮表示しながら、縦横比を保持した拡大縮小状態で貼り込みます。		◎	◎
ホールド変形	ホールド用クリップボードの内容を仮表示しながら、指定枠内に縦横変倍の変形状態で貼り込みます。		◎	◎

【表示】メニュー

メニュー名	新設、機能拡張内容	10	9	8
ツールバー	ツールバーの固定が可能になりました。[作図]－[ペイント]のパレット色を指定するアイコンを追加しました。	○	○	○

【作図】コマンド

階層1	階層2	新設、機能拡張内容	10	9	8
拡張直線	目盛付軸	目盛値の作図機能を追加しました。			○
	ダイヤル	ロータリースイッチ用目盛付きダイヤルを作図します。			◎
円	中心と半径 中心と直径	連続作図機能を追加しました。			○
曲線	Bスプライン	指定点を通過する、Bスプライン関数による自由曲線を作図します。			◎
	ベジエ曲線	始点と終点をなめらかに結ぶ自由曲線を作図します。			◎
	方形雲形	対角四角枠の指定により、四角ベースの雲形を作図します。		◎	◎
	円形雲形	中心と円周点の指定により、円ベースの雲形を作図します。		◎	◎
	楕円形雲形	対角四角枠の指定により、楕円ベースの雲形を作図します。		◎	◎
文字	複数行文字入力	エディタ画面で複数行の入力や編集ができます。		◎	◎
	フォント変更	TrueType、OpenTypeフォントが指定された場合、プロポーショナル機能ON／OFFの判定を自動で行います。前回変更したフォント名を保持しておくことができるようになりました。		○	○
	ベクトル化	フォントが持っている状態より太く、あるいは細くした状態でベクトル化することができます。		○	○
	文字列置換	作図画面中から文字を検索して指定文字に置換することができます。			◎
	表作成	部品表を作図できます。CSVファイルの読み込み・保存が可能です。			◎
	文字レイアウト	範囲枠指定による複数文字列のレイアウトを修正することができます。			◎
	文字の再配置	複数の文字列を1行に合成して、あらためて配置し直すことができます。		◎	◎
	複数行文字編集	複数の文字列をエディタ画面に取り込み、編集や1行の文字数調整などができます。		◎	◎
	文字一括編集	図面中の全ての文字列を抽出し一覧表示します。	◎	◎	◎
ハッチング	閉鎖領域指定	閉鎖図形線の認識を1000要素まで可能なように拡張しました。			○
オフセット	範囲枠指定	複数の閉鎖ループ線に対して、一括でオフセット線を作図します。			◎
	閉鎖領域指定	閉鎖図形線の認識を1000要素まで可能なように拡張しました。			○
ペイント	要素指定	指定された要素による閉ループ内の塗りつぶしをします。	◎	◎	◎
	閉鎖領域指定	指定された閉鎖領域内の塗りつぶしをします。	◎	◎	◎
補助線	中心と半径	中心と半径指定による円の補助線をセットします。	◎	◎	◎
	中心と円周点	中心と円周点指定による円の補助線をセットします。	◎	◎	◎

【寸法】コマンド

階層1	階層2	新設、機能拡張内容	10	9	8
計測	面積	閉鎖図形線の認識を1000要素まで可能なように拡張しました。			○

【加工】コマンド

階層1	階層2	新設、機能拡張内容	10	9	8
交点間削除	－	交点と交点の間だけを削除します。		◎	◎
複写	2点指定補正複写	2点指定による角度・サイズに補正し、縮小拡大回転複写します。			◎
移動	2点指定補正移動	2点指定による角度・サイズに補正し、縮小拡大回転移動します。			◎
雲形に変更	－	すでに作図されている、直線・枠・円・楕円を雲形図形に変更します。		◎	◎
線分処理	円弧・楕円弧の分解	円・円弧、楕円・楕円弧を微小直線による多角形に分解します。			◎
	円弧に合成	微小直線による多角形を認識範囲内で円弧要素に合成します。			◎
伸縮	変形・範囲枠指定	範囲枠指定による、縦横変倍の変形をします。			◎
	変形・数値指定	倍率指定による、縦横変倍の変形、回転をします。			◎

【設定】メニュー

メニュー名	新設、機能拡張内容	10	9	8
寸法線	寸法値、XY座標値、XY座標値に3桁区切りのカンマを追加することができます。		○	○
寸法値フォント 文字フォント	TrueTypeフォント、OpenTypeフォントが指定された場合、プロポーショナル機能ON／OFFの判定を自動で行います。 標準フォントの場合も、プロポーショナル状態での配置ができます。		○	○
その他	以下の項目が追加されています。雲形最小半径／雲形最大半径／雲形ペン番号		○	○
図面保存オプション	以下の項目が追加されています。ZMN形式を主体に使用する	○	○	○
パレット管理	[作図]－[ペイント]機能で指定できる色の組み合わせを設定します。	◎	◎	◎

【その他、メニュー以外の機能】

項目	機能内容	10	9	8
文字コード	ユニコードに対応しました。	◎	◎	◎
フォント	OpenTypeフォントへ対応しました。図面中の最大フォント数が50になりました。	○	○	○
文字入力	文字を入力する各ダイアログボックスで、入力した文字履歴を20個まで保持しておくことが可能になりました。		◎	◎
はめ合い公差	JISで規定されている、穴・軸のはめ合い公差が簡単に選択可能。はめ合い公差が入力可能な全コマンドで使用可能です。		◎	◎
開くファイルの複数選択	図面ファイルを開くの各コマンドのダイアログボックスで複数のファイルを指定して開くことが可能になりました。		◎	◎